

財團 法人 協調會 福岡出張所

十五年六月には組合員四百五十名の大量解雇を斷行したが最後迄組合の旗の下に團結し生活擁護に努めた結果遂に會社側に組合を容認せしめた、斯の如く從來に於ては資本家、官憲方面にて組合主義運動を危険視せられて居たのであるが今日斯る誤れる觀念は一掃せられ國家産業の爲の團体として考へられて來た。其の證據は昨日の製綱小倉労働會館開館式に於ける知事閣下の祝辭を見ても明瞭である。吾々は故自己の責任を自覺し國家産業發展の爲邁進せよ。

() 製綱労働組合兵庫支部 幹事長

生來 長治

我製綱労働組合兵庫支部は大正十五年結成したのであるが當時日本の労働運動は最も混亂した時代であつて、此の中に敢然奮起して同志の結合を完成する事が出來た、何故容易に團結が出來たかそれは吾々の運動が現實に即して居たからだ、